Cisco Secure Endpointプライベートクラウドファームウェアアップグレード

内容

- はじめに
- 前提条件
- 必要なダウンタイム
- ファームウェアアップグレード手順
  - プロキシまたは接続モード
  - エアギャップモード
  - その他の検証
- レガシー手順(CVE-2024-20356の修復用)
  - ファームウェアアップグレード手順
  - プロキシまたは接続モード
  - エアギャップモード
  - 確認手順

はじめに

この記事では、Cisco Secure Endpoint Private Cloud UCSアプライアンスのファームウェアをアップグレードするプロセスについて説明します。CVE-2024-20356の修復に関する以前のドキュメントは、レガシー手順のセクションに移動しました。

前提条件

- セキュアエンドポイントプライベートクラウドUCSアプライアンス（プライベートクラウドバージョン4.2.5以降）
  - 従来の手順は、バージョン3.9.x ~ 4.2.4のプライベートクラウドアプライアンスに適用できます。
- プライベートクラウドUCSアプライアンスCIMC Web UIへのアクセス

必要なダウンタイム

OpadminによるRPMアップグレードには、約10分かかります。ファームウェアのアップグレード自体は、完了までに約40分かかります。この間、Cisco Secure Endpoint機能は使用できなくなります。

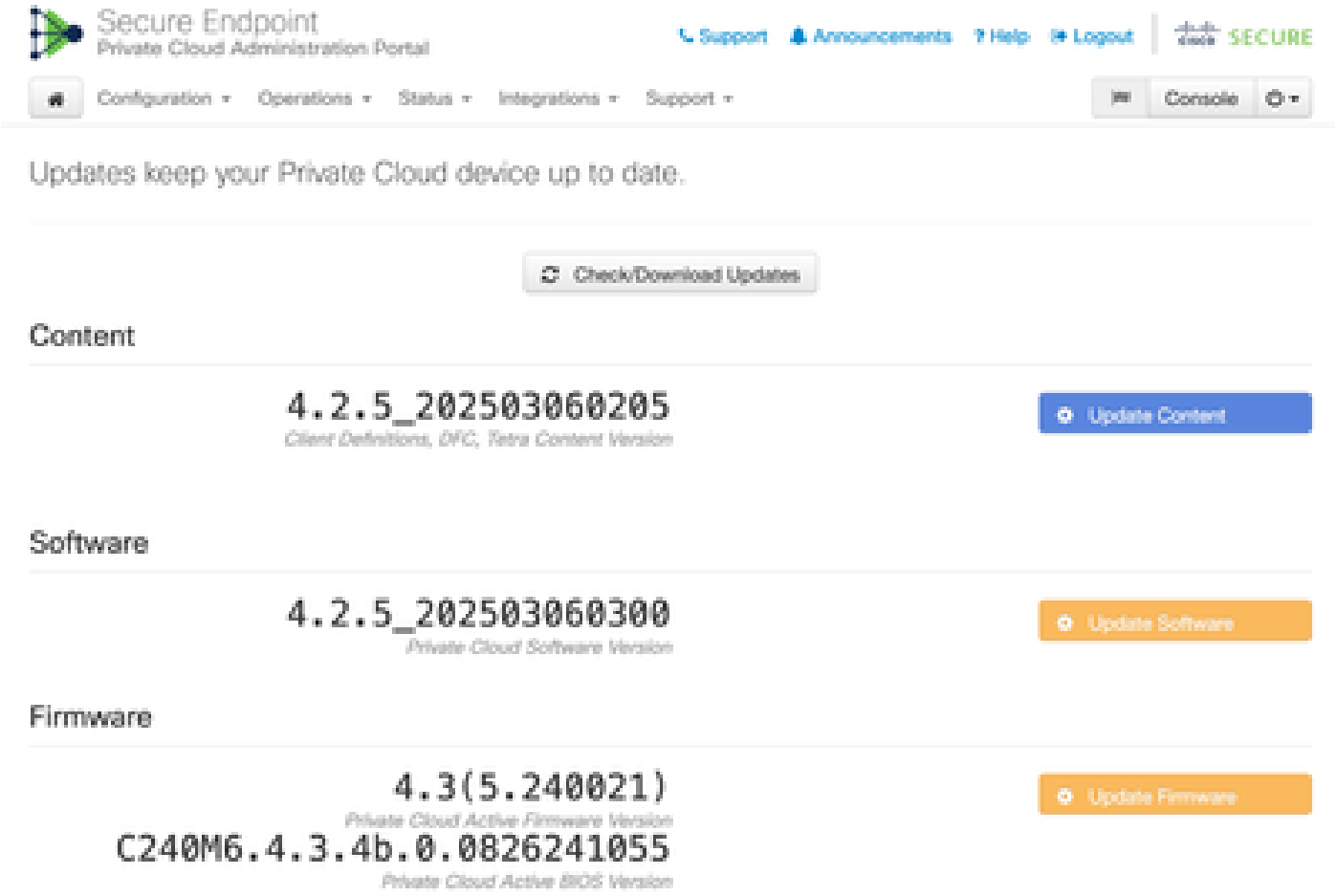
ファームウェアのアップグレードが完了すると、UCSアプライアンスがリブートされます。この処理にはさらに10分かかります。

ダウンタイムは合計で約60分です。

ファームウェアアップグレード手順

プロキシまたは接続モード

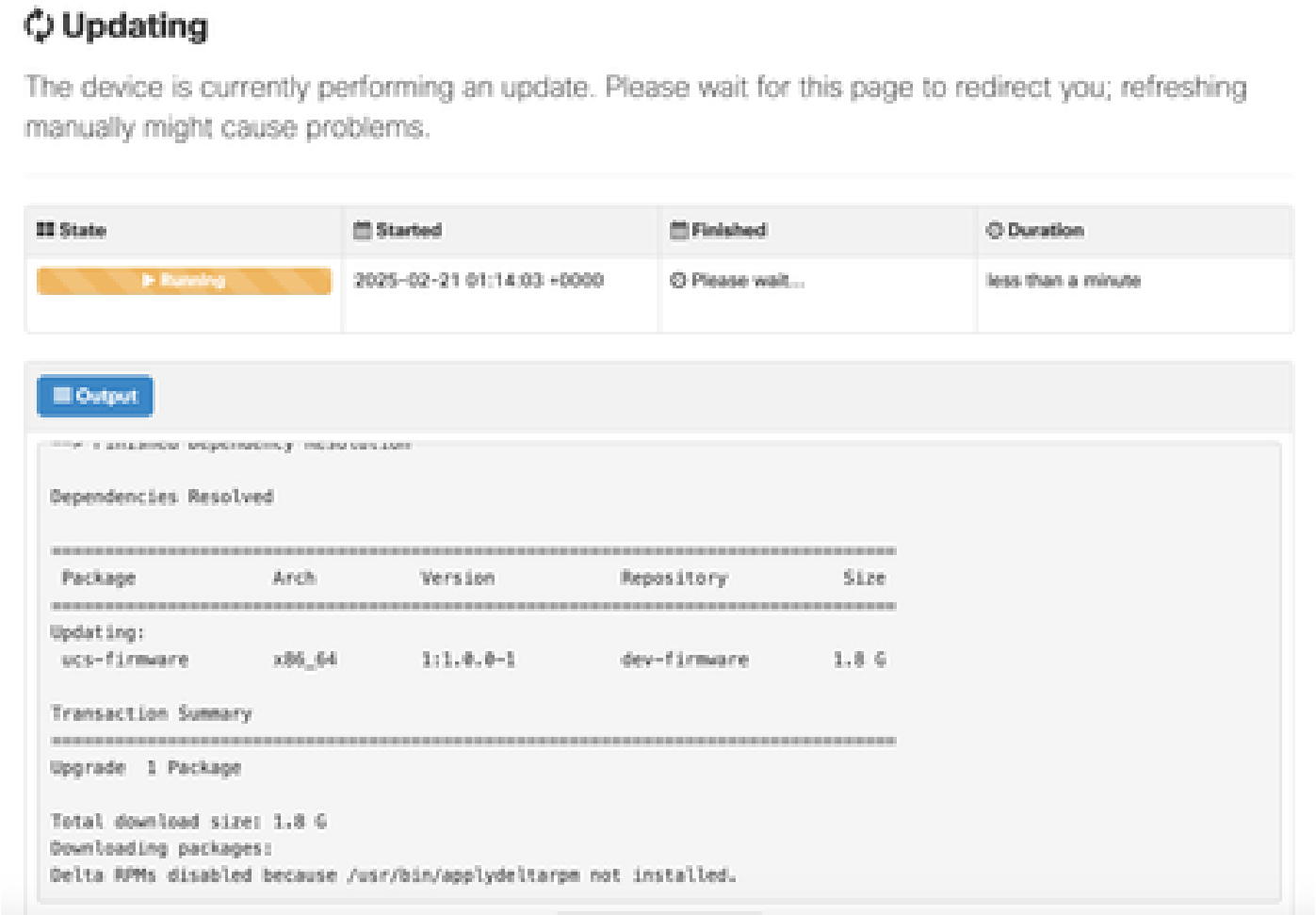
1. 図に示すように、Operations > Updatesの順に移動します。



2. アプライアンスは、毎日新しいファームウェアのアップデートを確認する必要があります。まだチェックマークが付いておらず、使用可能のマークが付いていない場合は、Check/Download Updatesボタンをクリックします。

3. 図に示すように、Update Firmwareボタンをクリックします。

4. 図に示すように、ファームウェアのアップデートが開始されます。

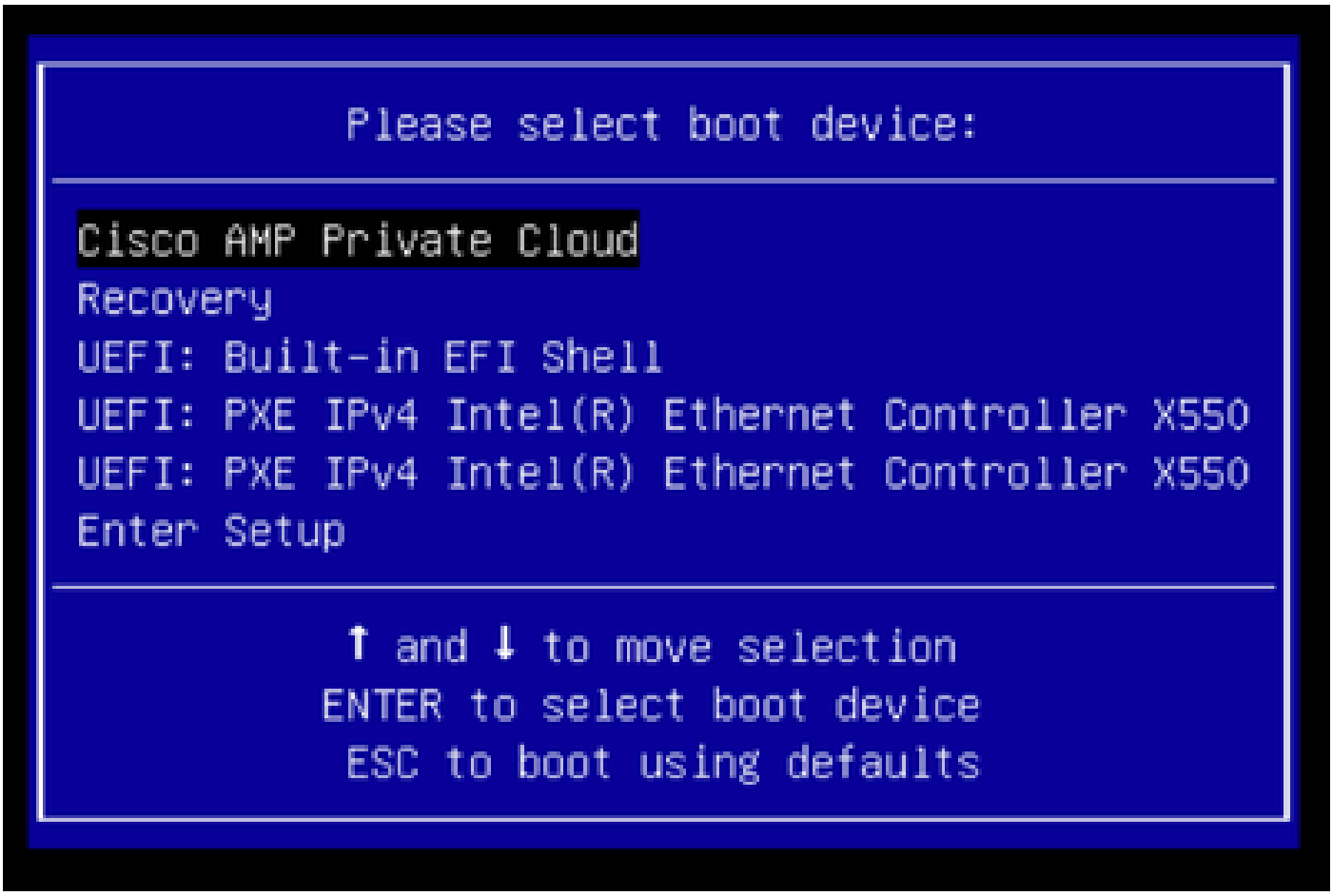


5. 更新が完了するのを待ちます。完了したら、アプライアンスを再起動してファームウェアのアップデートを完了する必要があります。次の手順を参照してください。

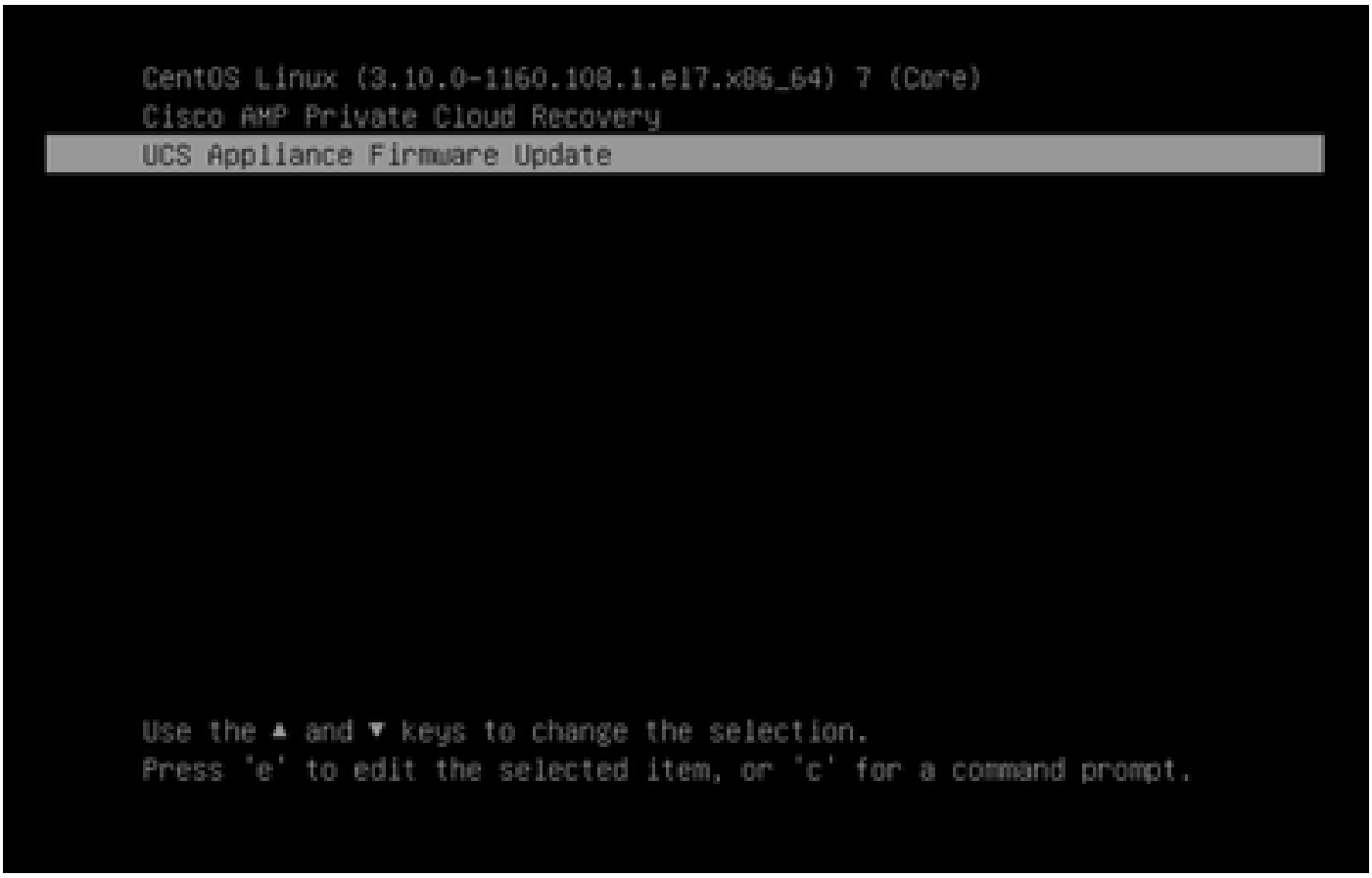
6. WebブラウザでCIMC Web UIにログインし、KVMコンソールを開きます。

7. （SSHまたはCIMC KVMコンソールから）amp-ctl rebootを使用してアプライアンスを再起動します。

8. CIMC KVMコンソールで、アプライアンスが再起動するまで待ちます。ブートローダメニューで、下矢印を使用してCisco AMP Private Cloudを選択します。



9. ブートローダーは、通常のアプライアンスをブートする前に数秒間待ちます。下矢印を使用してUCS Appliance Firmware Updateを選択し、Enterキーを押します。



10. アプライアンスがファームウェア・アップデータを起動し、ファームウェアを更新してアプライアンスを再起動します。

11. CIMCは、このプロセス中にユーザをログアウトさせることができます。

エアギャップモード

1. 新しいバージョンのamp-syncをダウンロードします。4.2.5では、コンテンツとソフトウェアのアップデートとともにファームウェアのアップデートを取得する、新しいバージョンのamp-syncが利用可能です。
2. amp-syncを使用して新しい更新ISOを作成します。
3. 通常のアプライアンスのアップデートと同様に、アップデートISOをマウントします。
4. Operations > Updatesの順に移動します。
5. Check Update ISOボタンをクリックします。
6. アップデートが利用可能になったら、Update Firmwareボタンをクリックします。

7. 更新が完了するまで待ちます。完了したら、アプライアンスを再起動してファームウェアのアップデートを完了する必要があります。次の手順を参照してください。

8. WebブラウザでCIMC Web UIにログインし、KVMコンソールを開きます。

9. （SSHまたはCIMC KVMコンソールから）amp-ctl rebootを使用してアプライアンスを再起動します。

10. CIMC KVMコンソールで、アプライアンスがリブートするまで待機します。ブートローダーメニューで、下矢印を使用してCisco AMP Private Cloudを選択します。

11. ブートローダは、通常のアプライアンスをブートする前に数秒間待機します。下矢印を使用してUCS Appliance Firmware Updateを選択し、Enterキーを押します。

12. アプライアンスがファームウェア・アップデータで起動し、ファームウェアをアップデートしてアプライアンスを再起動します。

13. このプロセス中にCIMCからログアウトされる場合があります。

その他の検証

1. Operations > Updatesの順に移動します。
2. アクティブなファームウェアとBIOSバージョンがアップデートされていることを確認します。
3. または、CIMC Web UIで、図に示すように、メニューAdmin -> Firmware Managementに移動します。

Firmware Management

Update Activate

	Component	Running Version	Backup Version	Bootloader Version	Status	Progress in %
☐	BMC	4.3(2.240009)	4.2(3e)	4.3(2.240009)	Completed Successfully	
☐	BIOS	C240M6.4.3.2e.0_EDR	C240M6.4.3.2e.0_EDR	N/A	Completed Successfully	
☐	Cisco 12G SAS RAID Controller with 4GB FBWC (28 Drives)	52.20.0-4523	N/A	N/A	N/A	N/A
☐	SASEXP1	65160900	65160700	65160700	None	

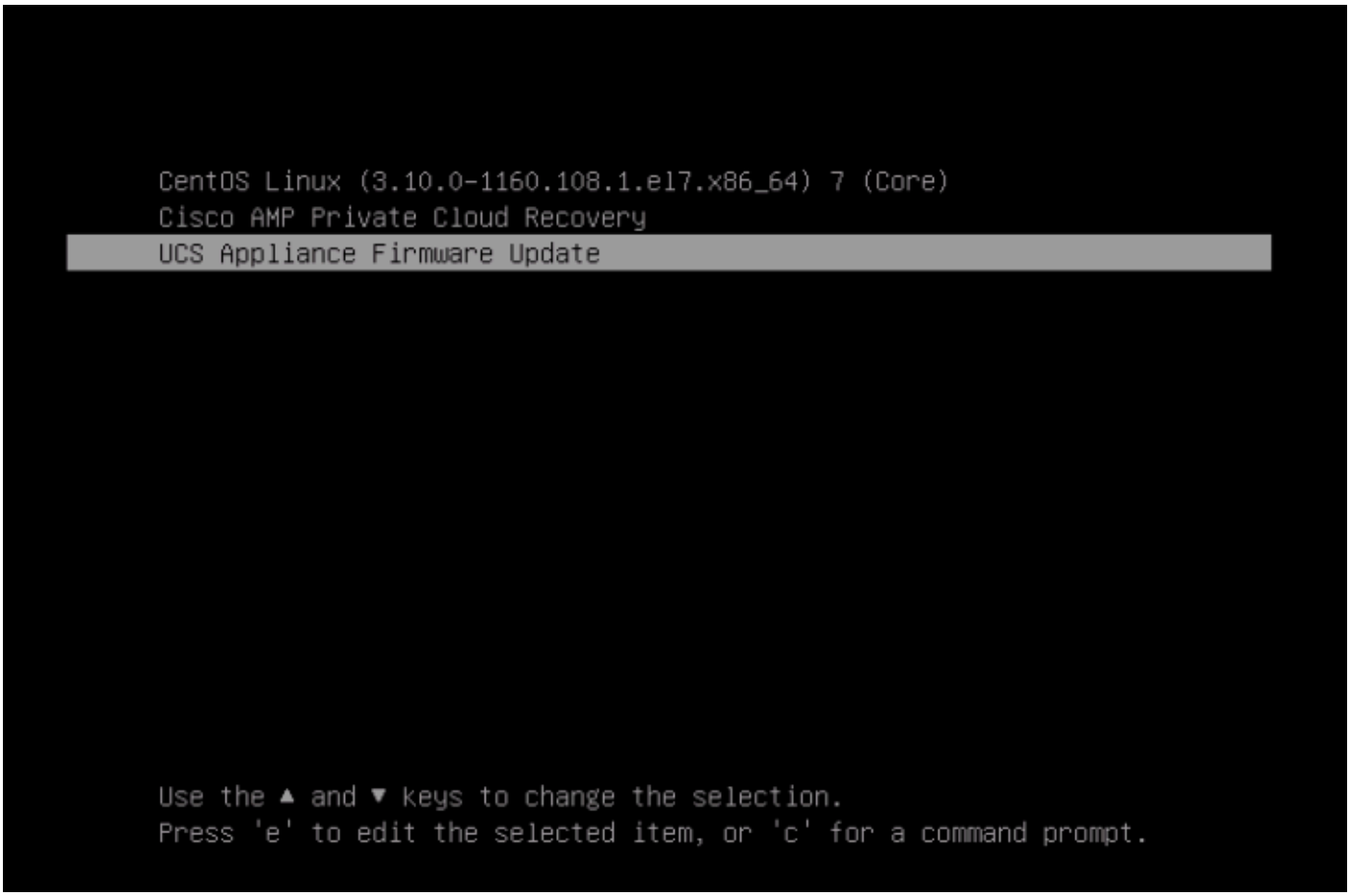
レガシー手順(CVE-2024-20356の修復用)

これらの手順は、バージョン3.9.xから4.2.4までのプライベートクラウドアプライアンスで使用できます。

ファームウェアアップグレード手順

プロキシまたは接続モード

1. アプライアンスのコマンドラインで（SSHまたはCIMC KVMを使用して）yum install -y ucs-firmwareコマンドを実行します。
2. Webブラウザで、アプライアンスのCIMC Web UIにログインし、KVMコンソールを開きます。
3. （SSHまたはCIMC KVMコンソールから）amp-ctl rebootを使用してアプライアンスを再起動します。
4. CIMC KVMコンソールで、アプライアンスがリブートするまで待機します。ブートローダーメニューで、新しい「UCSアプライアンスファームウェアアップデート」メニュー項目が利用可能になります（下のスクリーンショットを参照）。
5. ブートローダは、通常のアプライアンスをブートする前に数秒間待機します。下矢印を使用して「UCS Appliance Firmware Update」を選択し、Enterキーを押します。
6. アプライアンスがファームウェア・アップデータで起動し、ファームウェアをアップデートしてアプライアンスを再起動します。
7. このプロセス中にCIMCからログアウトされる場合があります。



エアギャップモード

1. amp-syncを使用して新しい更新ISOを作成します。
2. 通常のアプライアンスのアップデートと同様に、アップデートISOをマウントします。
3. アプライアンスのコマンドラインで（SSHまたはCIMC KVMを使用して）yum install -y ucs-firmwareコマンドを実行します。
4. Webブラウザで、アプライアンスのCIMC Web UIにログインし、KVMコンソールを開きます。
5. （SSHまたはCIMC KVMコンソールから）amp-ctl rebootを使用してアプライアンスを再起動します。
6. CIMC KVMコンソールで、アプライアンスがリブートするまで待機します。ブートローダーメニューで、新しい「UCSアプライアンスファームウェアアップデート」メニュー項目が利用可能になります（上のスクリーンショットを参照）。
7. ブートローダは、通常のアプライアンスをブートする前に数秒間待機します。下矢印を使用して「UCS Appliance Firmware Update」を選択し、Enterキーを押します。
8. アプライアンスがファームウェア・アップデータで起動し、ファームウェアをアップデートしてアプライアンスを再起動します。
9. このプロセス中にCIMCからログアウトされる場合があります。

確認手順

1. CIMC Web UIで、メニューAdmin -> Firmware Managementに移動します（下のスクリーンショットの例を参照）。
2. BMCのバージョンは4.3(2.240009)である必要があります。

Firmware Management

Update Activate

Component	Running Version	Backup Version	Bootloader Version	Status	Progress in %
BMC	4.3(2.240009)	4.2(3e)	4.3(2.240009)	Completed Successfully	
BIOS	C240M6.4.3.2e.0_EDR	C240M6.4.3.2e.0_EDR	N/A	Completed Successfully	
Cisco 12G SAS RAID Controller with 4GB FBWC (28 Drives)	52.20.0-4523	N/A	N/A	N/A	N/A
SASEXP1	65160900	65160700	65160700	None	

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。